

信濃美術館の整備にかかる 「第4回県民フォーラム」概要（長野会場）

県民文化部文化政策課
信濃美術館整備室

日 時：平成30年12月15日（土曜日）午後2時から午後3時55分

場 所：長野市生涯学習センター 第3学習室

参加者：72名

概 要

主な意見等

- 県民ギャラリー、多目的ルーム、ホワイエを一体的に展示に使えるとのことで期待している。使用料はできるだけ庶民感覚な金額でお願いしたい。
- 魅力的なカフェレストランにしてほしい。そのために事業者の選定方法を工夫してほしい。美術館にとってカフェレストランは重要な要素である。
- 待合プラザで長野市内に設置してある野外彫刻の情報が分かるとよい。
- 設計者はよく考えてくれているが、長野市がこの場所をどのようにしたいのかが見えない。この場所に観光客をどうやって呼ぶのか。美術館の魅力でお客さんを呼ぶのは美術館の力だが、自然に足が向くような場所にならないと年間を通じた集客は見込めない。長野市民の意見を聞いて、長野市としてこの場所をどう活用するのかしっかり考えてほしい。長野市は計画を早く方向付けてほしい。
- これは単に美術館の建設ではなく、長野市のまちづくりの話である。長野市内のサイン計画は長野市が積極的に考えないといけない。また、この場所にどうやってバスを循環させるのかも考えてほしい。専門家の意見だけでなく、長野市民の声を聞いて進めてほしい。長野市全体のこととして考えないと、いくらよい美術館を建ててもお客は来ない。長野市にこのことを伝えてほしい。
- 観光客に情報をどう伝えるかが大事である。長野駅前に情報を提供できる施設が必要ではないか。情報を求めている人が自分で情報が取れるようにしてほしい。

(以上)